

北九州 映画紀行

入場
無料

映画の中の北九州を知らう

平成編

2019.

4/10[水] ~ 7/7[日]

9:00~17:00

休館日 月曜日[祝日の場合は翌火曜日]

展示場所 松永文庫 展示室

(旧大連航路上屋内)門司区西海岸1丁目3-5



北九州映画紀行

平成編

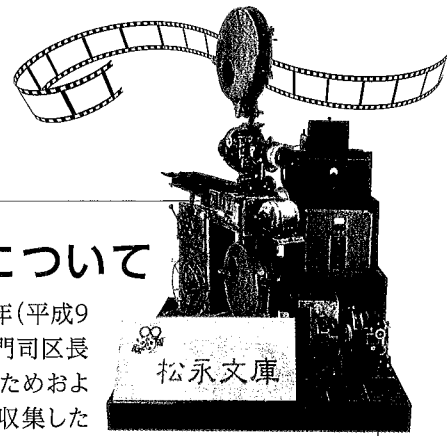
企画展によせて

平成の幕開けとともに全国に先駆け、都市のイメージアップを目的とした映画・テレビドラマなどのロケ誘致・支援活動を行ってきた北九州市。「映画の街・北九州」をスローガンに熱心に取り組んだ誘致活動は、業界における厚い信頼と高い評価を獲得し、それらの撮影件数が年々増加していることは周知のとおりです。近年ではその活動実績は国内にとどまらず、外国映画・ドラマにも広がりを見せています。かつて昭和の映画黄金期に113館もの映画館が林立し、また豊かな文芸土壌をもって古くから映画と密接なつながりを持ってきた北九州の映画文化は、平成という時代に「ロケ地」というさらなる魅力が合わさり、その繋がりはより深いものとなりました。本企画展では新時代に向け、北九州市がこれからも「映画の街」として育まれていくことを願い、平成において北九州で撮影が行われた映画作品を所蔵資料から選んで展示します。

ポスター展示リスト(抜粋)

ロケ年度	作品名
平成 元年	ウォータームーン
4 年	夢の女
10 年	釣りバカ日誌10
15 年	海猿
16 年	カーテンコール
17 年	出口のない海
18 年	東京タワー
19 年	ザ・マジックアワー
20 年	おっぱいバレー
22 年	僕達急行 A列車で行こう
23 年	あなたへ
24 年	共喰い
25 年	黒執事
26 年	寄生獣 完結編
27 年	図書館戦争 THE LAST MISSION
28 年	相棒 劇場版IV
29 年	OVER DRIVE
30 年	来る

入場
無料



松永文庫について

松永文庫は、1997年(平成9年)10月、松永武(門司区長谷)が、映画研究のためおよそ60年にわたって収集した映画・芸能関連の資料を、自宅を開放して無料公開し誕生しました。2009年(平成21年)11月、これらの資料すべてを北九州市に寄贈。北九州市の文化施設として、門司市民会館(門司区老松町)で無料一般公開されました。以来、テーマを決めて館内・館外企画展を開催し、県内外から訪れる多くの来館者に映画文化を紹介しています。2013年(平成25年)7月、旧大連航路上屋グランドオープンに伴い、この地で松永文庫の資料展示を始めました。2016年(平成28年)5月、日本映画批評家大賞受賞。

新聞記事は生きている。
だから生かし続けたい。

松永文庫の特性は、映画俳優を含む芸能全般に関わる、いわゆる芸能人と称される人達の「生き方」に力点を置いて関係資料を収集し続けていることです。



レトロの街の映画・芸能資料館

松永文庫

展示室(旧大連航路上屋)：北九州市門司区西海岸1-3-5
TEL(093)331-8013 FAX(093)331-8012
E-mail:matsunaga.bunko@gmail.com

マンスリーシアター【イベント情報】会場：旧大連航路上屋 2Fホール

2019年

4/28日

13:30開場
14:00開演

「霧の旗」

原作：松本清張
監督：山田洋次
1965年 松竹 出演：倍賞千恵子 ほか

2019年

5/26日

13:30開場
14:00開演

「ガス灯」

出演：シャルル・ボワイエ
1944年 アメリカ映画 ほか